投 稿 規 定

A．「原著」，「短報」，「報告」の投稿を募ります．
本誌は，刊行の主旨として，理学療法の「①技術の発展に寄与し，②理論的背景に迫り，③体系化の一端を担う」を掲げており，この主旨に沿った投稿とします．

B．執筆にあたって
執筆にあたり，ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針の内容を確認して下さい．

C．採否などについて
1. 採否：編集委員会の査読によって決定します．その際，加筆，削除および一部書き直しをお願いすることがありますので，ご了承下さい．
2. 他誌に掲載されたものや投稿中のものは投稿しないで下さい．

D．原稿送付の方法について
原稿作成方法の如何を問わず，本文は下記の執筆要領にて作成しプリントアウトしたもの（A4判）2部と，同じくプリントアウトした図・写真・表の原稿をお送り下さい．

E．原稿枚数などについて
文献も規定枚数の中に含めて下さい．表題，著者名（フリガナ），所属，キーワード（5個以内），和文要旨（300字～500字），英文要旨（Abstract）を別紙にまとめて付けて下さい．

［原　著］
1. 原稿枚数：本文は20枚以内とします．図表，写真（手札大）は合計5点以内とし，それらを超える場合は，1点につき本文を1枚減らして下さい．
2. 研究目的，被験者数，測定手順，計算方法，臨床的意義などについて，はじめに，方法と対象，結果，考察，結語，文献の順でまとめて下さい．

［短　報］
1. 原稿枚数：8～12枚（図・表・写真を含みます．文献は2～3本付けて下さい）．
2.「原著」の小型のものとお考え下さい．

［報　告］
1. 原稿枚数：8～12枚（図・表・写真を含みます．症例数が少ない場合は枚数を減らして下さい）．
2. 理学療法の関わり，結果，考察の順にまとめて下さい．

F．執筆要領について
1. 本文は1枚を20字×20行の400字として下さい．
2. 度量衡単位はCGS単位記号（m，cm，mm，ml，kg，cm^2 など）を用いて下さい．
3. 外国の人名には原則として原語を用います．外国の地名は原則としてカナ書きとします．外国語の術語はできる限り訳して用いることとし，必要に応じてカッコ内に原語を入れて下さい．
4. 文献は原則として引用文献とし，引用順に配列し文末に付けて下さい．

〈文献の表記の仕方〉

a．雑誌の場合（例）
執筆者：題名．雑誌名 巻数：頁，発行年
1）中村隆一：理学療法教育について思うこと．理学療法 21(11)：1392–1397，2004
2）Potter JM et al：Gait speed and activities of daily living function in geriatric patients. *Arch Phys Med Rehabil* **76**：997–999, 1995
3）Winters MV et al：Passive versus active stretching of hip flexor muscles in subjects with limited hip extension：A randomized clinical trial. *Phys Ther* **84**：800–807, 2004

b．単行本の場合（例）
著者名：書名，引用頁．発行所，発行所所在地名（外国の出版社が海外で刊行した場合のみ），発行年
1）松井和子：頸髄損傷―自立を支えるケア・システム，pp82–152．医学書院，1996
2）柳澤信夫：高齢化社会における寝たきり予防の重要性．寝たきりの予防と治療（財団法人長寿科学振興財団編），pp9–16．保健同人社，2000
3）Norton K et al：Measurement techniques in anthropometry. Anthropometrica（Norton K et al eds），pp25–75. University of New South Wales Press, Sydney, 1996

G．その他
1. 著者校正は原則として1回とします．校正は赤でお願いします．掲載後原稿は原則として返却いたしません．図・写真など返却を要するものはその旨を明記して下さい．
2. 掲載料は無料です．掲載分には掲載誌1部と別刷20部（筆頭執筆者あて）を差し上げます．有料分をご希望の場合は50部を上限にお作りします．

［原稿送り先］
〒179–0084 東京都練馬区氷川台1–12–17
メディカルプレス『理学療法』編集部
電話 03–3550–6400（代）

Presented by Medical*Online